

可児市における国内外の学生・生徒との学び合い支援に関する意見書

可児市では、「可児っ子海外交流訪問団」として、オーストラリア・レッドランド市との交流事業が行われています。この事業は、私たち可児っ子がコミュニケーション能力を高め、多様な価値観に触れることができる大変有意義な取り組みです。私自身も一昨年、この訪問団に参加しました。現地での交流を通して、日本とは異なる考え方や価値観に触れ、新しい視点を得ることができました。この経験は、物事の捉え方を広げる、刺激的な学びとなりました。

現在、私たち高校生は「総合的な探究の時間」や学校内外での活動を通して、教室の中だけでは得られない多くの学びを重ねています。一方で、都市部の学生との体験格差が社会問題となっている中、地方に暮らす私たちにとっても、多様な学びを選択し、実際に体験できる機会は非常に重要であると感じています。

より多くの可児市の高校生がこのような多様な学びを経験することは、将来、地域の未来を担う若者の成長につながります。そしてそれは、個人の成長にとどまらず、市全体の発展にとっても大きな意義をもつものだと考えます。

このような背景を踏まえ、下記の点について要望いたします。

記

私は、長崎市で行われた若者による平和についてのディスカッションに参加しました。そこで現地の高校生が平和の実現に向けて、主体的にさまざまな活動を行っていることを知りました。全国には、私たちとは異なる価値観をもち、異なる生活をしている高校生がいることに、大きな衝撃を受けました。また、オーストラリアや長崎県への訪問を通して、現地に実際に赴いたからこそ感じられる活気や情熱、人々の温かみの大切さを実感しました。

そのため、大きなイベントへの参加や被災地への訪問など、実体験を重視した「可児っ子ツアー」の実施、現地への支援を行っていただきたいと考えます。

令和8年3月23日

岐阜県立可児高等学校
2年 日比野 世那

可児市議会議長 川上 文浩 様